



(様式1)

議会報告会報告書

開催日時	平成26年2月9日(日) 午後1時30分 ~ 午後3時30分		
開催場所	田島地域 田部生活改善センター		
担当班	B班	出席議員	湯田秀春・室井嘉吉・大桃英樹・五十嵐司 楠正次・高野精一
役割分担	代表者	湯田 秀春	司会進行者 楠 正次
	報告者	室井 嘉吉 五十嵐 司 高野 精一	記録者 大桃 英樹
報告内容	平成25年12月定例会における議案等審議結果		
主な質疑答弁	質疑	指定管理者の指定について、田部からは冬期間スキー場に勤務している人が多い。外部からの会社が指定管理になることは悪くはないが、町民の人材育成の視点で一生懸命やってほしい。また、高畑スキー場であれば檜枝岐村との連携、南郷スキー場であれば只見町との連携などを図ってみてはどうか。少子高齢化にあつて地域にとって大切な職場なので、地元の業者に運営し、スキルアップしてほしい。	
	答弁	南郷スキー場と高畑スキー場が、昨年7月から(株)マックアースリゾート福島が指定管理者となった。全国、県内で展開している会社であり、従業員はこれまで働いていた方を雇用している。(司議員)	
		広域圏組合の議員で勉強会を開催しており、そこで議題にしたい。(秀春議員)	
	質疑	昔は、生活が山と密接に繋がっており、山林が活用していないため、農家の生活も厳しい。今後ぜひ活用してほしい。自分は子どもたちを全員サラリーマンにってしまったが、農家で生活していくのが大変で、担い手がない。	
	答弁	昭和40年代までは単価が高かったが、自由化により低下。現在は、カラマツは値段がいい。外材は合板に使っていたが、ロシアから輸入されなくなったため、国産材が利用されている。国は間伐に力を入れていて、30haまとめれば国の予算で間伐する事業もある。町でも森林組合の統合を行い、森林活用を促進している。(嘉吉議員)	
		森のエネルギー創出プロジェクト事業、長野県上川村の取り組みについて紹介。(高野議員)	
	質疑	森のエネルギー創出事業では、木の種類は限定されるのか。地区の総会で鳥獣対策として里山作りのため伐採することが話題になった。	
	答弁	森のエネルギー創出事業では軽トラック1台で5千円支払われる。その木材はチップになり会津若松市のバイオマス発電に利用されている。(秀春議員)	
	会津高原リゾート&ミドリ安全のバイオマス施設について説明。さらさらでは年間800m <sup>3</sup> 利用されているが、その事業では5倍の利用が見込まれる。(司議員)		

主な意見・要望 ※答弁済み・持ち帰り課題含む (調査)	要望	南会津病院では眼科が月曜日と金曜日に診察しているが、高齢者が多く若松も多いため、もっと診察日を多くしてほしい。
	調査	文教厚生委員会で調査、報告
	要望	栗生沢乗合タクシーについて、帰りも田部を通過してほしい。
	調査	総務委員会で調査、報告
	意見	空き家対策について、屋根の雪で危険な空き家がある。どの程度強制力を持つのか。田部の空き家の持ち主は分かっている、雪害などがある。
	答弁	まずは所有者を特定する。持ち主に対し勸奨、命令等ができる。(嘉吉議員)
	意見	圃場整備について、今後ともバックアップをお願いしたい。

平成26年3月5日

南会津町議会議長 芳賀沼順一 様

上記のとおり報告します。

議会報告会A班 班長 湯田 秀春

